



# 今年も燃えた！全国かぶと虫相撲大会

中山町の夏の恒例イベント『第24回全国かぶと虫相撲大会』が7月21日に総合体育館で開催され、小学生以下の子どもたち384名が県内外からトーナメント戦に参加。熱気あふれる会場では「最強横綱」を目指し、白熱の取組みが繰りひろげられました。



トーナメント戦に参加した小学生以下の子どもたちは、自分で育てた自慢のかぶと虫や会場で購入したかぶと虫で大会に出場。熱気ムンムンの体育館では12ブロックに分かれ、行司の「はっけよ！いけ、のこった！」の声で取組みが始まると、子どもたちが「いけ！いけ！」「ガンバレ！」「と自分のかぶと虫への声援や木の土俵を棒でたく音で一気にヒートアップ。30秒の制限時間内に、より土俵の上でいたかぶと虫が勝ちとなり、土俵から落ちたり、飛び立ってしまうと負けとなってしまいます。

なかなか動かなかつたり、途中で飛び立ってしまうなど、思ったとおりの動きをしてくれないかぶと虫に悪戦苦闘する姿も見られましたが、そのたびに観客からは大きな声援や笑い声が上がっていました。今年の「全国かぶと虫相撲大会」も子どもたちにとって夏の楽しい思い出となったようです。



闘脇戦を勝ち抜き、最強横綱戦に進出したのは荒井孝太くん（山形市）の「カブトドラゴン」と後藤理沙さん（上市市）の「モモジリやま」。

熱戦の末、荒井くんの「カブトドラゴン」が土俵の上に逃げ切り、みごと最強横綱に輝きました。



山形市鈴川小3年の荒井孝太くん（8）は大会2度目の出場。幼虫から育てたかぶと虫のつのにひもをつけ、メダルを引く特訓をして大会にのぞみました。

「優勝できると思わなかったの、優勝できてうれしい。カブトドラゴンにはがんばったねと声をかけて、ご褒美にゼリーをあげたいです。」



会場内では「木のぼりレース」や「かぶと虫リレー」、中山町ならではの賞品が当たる大抽選会、屋外ではひまわり元気のさとスタンプラリーを開催。「すぱーく中山」でスタンプを押し、「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」や「〇っと」にスタンプカードを持っていくとソフトクリームがもらえました。さらに、楽天野球教室、ミニS1試乗会、がんばる車の展示、売店などが出され、各会場には人だかりがで「ひまわり元気のさと」周辺は大いに賑わいました。



かぶと虫リレー



木のぼりレース



楽天野球教室



大会参加者はひまわり元気のさとスタンプラリーでソフトクリームをゲット!!



子どもたちに大人気のかぶくん



自衛隊や消防車両などの展示ががんばる車大集合!